

# 神奈川県立岸根高等学校 令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録

・令和6年11月14日(木) 16:00～ 岸根高等学校会議室

## ・出席者：・学校運営協議会委員

長島 由佳様(すこやかサークル会長)、  
太田 早織様(神奈川大学人間科学部助教)、小澤 孝之様(篠原西小学校校長)、  
長谷川樹生様(しのはら幼稚園園長) 三田 敏幸様(岸根町内会長)、  
奥山 恭子様(岸根高等学校PTA会長)、久祢田 啓嗣(岸根高等学校校長)

## ・職員

三上 実(副校長)、井浦 洋(教頭)、久保 裕紀(カリキュラムG総括教諭)  
松井 浩気(キャリア支援G総括教諭)、木本 早彩(サポートG教諭)、  
加藤 博信(生活支援G総括教諭)、田口 和忠(地域連携協働G総括教諭)、  
川崎 陽香(学校管理運営G総括教諭) ※G = グループ

## ・欠席者： 濱崎 利司様(篠原中学校校長)、丹羽 滋子様(マーマシのはら保育園園長)

望月 選様(F・マリノススポーツクラブ理事)、

## (1) 開会

### ① 校長挨拶

「第一回の協議会時にお話しました、学校の方針について、我々が話すというよりも色々なご意見を頂けますとありがたい。岸根高等学校と鶴見支援学校の取り組みについて表彰されました。行事の際や授業等、また、すこやかサークルでの活動が認められた。」

### ② 会長挨拶

「文化祭での生徒の活躍について、生徒と教員とお互いに学び合い努力し合うところが素晴らしい、またこの会を通して人からみても良いなと思えるような学校作りが出来るように進めていきたい。」

## (2) ①令和6年度から4か年の学校教育目標について(確認)

### ②令和6年度学校教育目標中間まとめについて

・各グループから概要説明

#### ○カリキュラム支援G 久保総括教諭より

「端末の活用について、端末を使用した授業が増えてきている。評価の中の主体的に学習に取り組む態度、自分から学びに向かう姿勢を踏まえどのように授業に取り組ませるかを課題に進めている。研究、研修を重ねて工夫をしている。別紙の授業評価について、科目差もあるが全体的に良くなっている。考察としては評価の説明項目を分かりやすい文面に変えたからという側面もあるのではないかと。裏面の各教科からのコメントを参考にしていきたい。」

#### ○キャリア支援G 松井総括教諭より

「地域の資源を活用して生徒の学習に繋げていきたい。昨年度からサークルアクションを行い地域の企業と連携して学びを深めている。進路に関しては受験に向けて校内が慌ただしい。校内選抜等の指定校など相変わらず多いが、基本的には一般入試の生徒が多く努力をしている。引き続きキャリア育成、生徒の出口育成に勤めていきたい。」

動画を再生→地域交流を課題に設定し高校生として課題の発見や解決する力を育成するためにも地域の企業や団体との繋がりを大切にして活動を続けている。」

#### ○サポートG 木本教諭より

「体育祭、文化祭は無事に終了した。2日で5000人を超える来場者があった。

分教室との交流や生徒と教員のコラボなど垣根を超えた幅の広い活動ができた。部活動について、軽音楽部が全国大会、演劇部が関東大会と頑張っている。パリパラリンピックに出場した生徒もおり、学校全体で応援したりなど連携の取れた活動がみえた。引き続きサポート運営を行っていきたい。」

○生活支援G 加藤総括教諭

「神奈川サポートドックの結果を見ると落ち着いてはいるが、それぞれの学年で個々にかかえる悩みなどサポートしてあげたい。」

○地域連携協働G 田口総括教諭より

先日行われました、「すこやか祭り」では地域の皆さんとの協力のもと多くの方の交流が行われ大変有意義な時間だったと思う。本校生徒の学びにおいても多くの方々との関わりの中で良い表情を見ることができた。これからも地域との交流を絶やすことなく引き続き支援、ご協力をお願いしたい。また神奈川大学と連携したクラブプラスワンにおいても生徒の深い学びにつながっていると感じこちらも引き続き協力をお願いしたい。篠原西小学校とのクラブ交流では生徒が自ら企画し積極的に参加する姿をみて世代を超えた関わりの中での学びを感じた。

○学校管理運営G 川崎総括教諭より

1. ICT 関連→電子黒板の導入が決まり近日導入予定である。

2. 防災関連→第1回の防災訓練は地震を想定、第2回はこれから実施予定、ぶれすと保育園と共同で行う。

3. 事故不祥事防止→県の職員の不祥事が多いということもあり、改善していくためにグループ主体で事故不祥事防止に向けた研修を行った。ロールプレイなどを行い実施した。次回はアンガーマネジメント等研修を進めていきたい。

### (3) 質疑応答

○神奈川大学 太田様より

「サークルアクション」についての質問

・教員の介入度はどの程度なのか

→松井総括教諭。「まず1年生の段階では班で1つの設定、設定力の低いグループについてのみ助言指導を行った。2年生になると個人での課題設定になり1年生の時のPDCAスパイラルの回し方をいかして進めていく。3年生になると自分の進路に対しての課題設定という繋がりの中で必要に応じて助言をしていく。」

・どのような問題があったのか

→久保総括教諭。「一例を挙げると、生徒達は収支についての問題点に目がいきがちであるが、企業における担い手の問題等視野を広く持つように助言をした。地域密着型にしていくにはどうすべきか、などの問題をあげたグループもあった。」

・授業について、県が出している授業評価について、噛み砕いた項目について回答しやすいような配慮を行ったことは素晴らしい。結果を踏まえて改善のポイントはどのような事をしたのか？

→久保総括教諭。「自分のクラスの内容を確認して他のクラスと比較して自分の弱いところを認識してフォーカスを当て授業改善に取り組めた。」

○篠原西小学校 小澤校長より

・すこやか祭りにおいては小学生と高校生の関わりがとても良かった。けん玉のブースで高校生の上  
手な生徒を見て小学生が自分もやりたい、などの交流が見えてとても良かった。クラブ交流について  
高校生の生徒が小学生に丁寧に教えている姿がとても良かった。サークルアクションにもお声かけい  
ただき地域との関わりという部分でフィールドワークとして地域を活用している中で小学校も入れて  
もらえた事はとてもありがたい。高校生目線での課題を楽しみにしている。

・質問

「主体的な学び」について高校の中で主体的な姿、とはどういったものか？

→久保総括教諭。「今回の授業研究のテーマとして、主体的に学習に取り組む姿勢、の評価についてを  
掲げたので、他校の事例や教員同士でこれからもっと深くこのテーマについて答えを出していき  
たい。」

○しのはら幼稚園 長谷川園長より

・質問

「闇バイト」についてどのような形で指導しているのか？

→加藤総括教諭。「闇バイトそのものについて教育はしていないが、SNS の適切な使用法のなかで合  
わせて指導している。一方でアルバイト自体への関わりについて生徒と教員で確認しながら、今大切な  
ものの確認等行っている。」

アンガーマネージメントの研修について、昨今話題の不適切保育の背景にもアンガーマネージメント  
の必要性を感じ、研修を通して多くの事を学ぶことは素晴らしい。

→川崎総括教諭より。「各教員は他の研修等で既に取り組んでいるが、その上で再確認の意味も込め  
て、さらにはより良い研修となるようにグループで模索していきたい。」

○岸根町町内会 三田会長より

・地域のお祭り等に部活動等を通して参加してもらい、活気があってとても良い。

・防災については、いっとき避難場所として連携している。町内会に防災備蓄庫も抱えているので地  
域との高校生との関わりのある防災活動を考えていきたい。

・サークルアクションについて、40名ほどの生徒が来てくれて、地域の課題について考えてもらう良  
い機会であった。当初どのような課題が出るのか分からなかったが、思っていたよりも地域の事を考  
えている事がわかった。通学途中の道や町内会と新興住宅との関わりなど、生徒から学ぶことがたく  
さんあって良かった。

○岸根高等学校 PTA 奥山会長より

・3年間振り返ると子供の成長を感じとてもありがたかった。他にも紹介して良い学校と言えることが  
とても良い。

○すこやかサークル 長島会長より

- ・外で見かける岸根高校との関わりのなかで、やらされている感がなくて良い。

子供の育つ環境の中で学校そのものが目指す姿に近付いてきているのではないかと感じる。

- ・授業評価アンケートの結果について

課題の共有をしていることに意味があると思う。生徒と教育が課題を共有することはサークルアクション等との活動とも一緒でお互いに共有して生徒が考え育つ事が良い結果につながっていくのではないかと。1つの教科に限らず垣根を超えた学びに繋がっている。どの科目でもグループでもうまく相まっているからこそ子供達がいい成長をし、その姿を感じる保護者から良い意見が出ていることが素晴らしい。

他校の話だが、課題解決に関する募集に応募して一生懸命考えた経験を活かして、地域協力隊として過疎地域の課題や事業自体に感想を述べる事ができた。よその地域の事も真剣に考え、意見を述べる事が出来るようになる、岸根高校におけるサークルアクションはまさにその過程を学ぶ上とても価値のある活動だと思う。良い学びと学びの提供が存在しているなどと思います。

今後ともやらされている感のない生徒の活動をこれからもみていきたい。

#### (4) その他 (連絡事項)

すこやかサークル 長島会長より

- ・闇バイトについて過去の事例

高校生にとっておいしい話を生徒が安易に受け入れない、または変だと気づけるように指導をしてあげる事、また人に伝えて相談できる環境がある事が大事である。

- ・ハラスメントについて

相手の事を冷静に考え接するという事も日々伝えていく事も大切である。

#### (5) 閉会

校長より

闇バイトなど視点の置き方、学校として日々生徒に伝えていけると良いサークルアクションなど何事も教員が本気で取り組み生徒に伝え、より良い学校作りに繋げてもらいたいと考えている。

あるクラスに長期に入院していた生徒が戻ってきた際に、クラスの担任が座席について、生徒の方から思いやりのある相談がありとても良いと感じた。当たり前かもしれないが、それができる生徒が沢山いる学校であると感じている。

次回 第3回学校運営協議会は3月上旬を予定